



当期の経済情勢 世界経済

SCREEN

緩やかな  
持ち直しの動き

- 供給面での制約
- 原材料価格の上昇
- 世界的な金融引き締め

景気回復が鈍化気味

株式会社 SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

エレクトロニクス業界

コロナ特需の反動で需要が減少

▶ 一部の設備投資に縮小の動き

5G、AI活用を受けた  
IoT、DXの進展を意識した高速化

GXを意識した低消費電力化のための  
微細化投資

パワー半導体や実装技術分野への投資

▶ 底堅く推移

- 米中対立に伴う世界経済の分断
- 安全保障問題への影響を懸念

ディスプレイメーカー  
パネル価格の下落

▶ 設備投資計画に見直しの動き

## 当期の業績（連結）

SCREEN

（億円未満切捨）

### 売上高

4,608億円 前期比 11.9%増 

### 営業利益

764億円 前期比 24.8%増 

### 経常利益

773億円 前期比 30.2%増 

### 親会社株主に帰属する当期純利益

574億円 前期比 26.4%増 

# 過去最高

株式会社 SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

## 対処すべき課題

SCREEN

2021年3月期～2024年3月期

## 中期経営計画「Value Up 2023」

ソリューションクリエイターとしての業界でのプレゼンス確立

## ソリューションクリエイター

社会的な課題・ニーズを解決する技術や製品、サービスを提供し、  
持続可能な社会の発展に寄与する企業体

株式会社 SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

## ソリューションクリエイター

社会的な課題・ニーズを解決する技術や製品、サービスを提供し、持続可能な社会の発展に寄与する企業体

$$\begin{array}{ccccc} \text{企業価値} & = & \text{社会的価値} & + & \text{経済的価値} \\ \text{SCREEN Value} & & \text{Sustainable Value} & & \end{array}$$

## 利益創出や株主還元を推進

- 1 イノベーションの創出と持続的成長サイクルによる企業価値向上
- 2 収益性と効率性を追求し利益に見合うキャッシュを創出
- 3 サステナブル企業に向けたESGの取り組み

# 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

半導体製造装置事業の競争力強化に向けた取り組みを強化

## 技術開発の加速

世界最高レベルの生産性と  
高い処理性能をもつ枚葉式洗浄装置  
**SU-3400**を発売



# 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

半導体製造装置事業の競争力強化に向けた取り組みを強化

## 技術開発の加速

ベルギー imec

米国 IBM社

次世代洗浄プロセスの共同開発契約を締結

# 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

## 半導体製造装置の生産体制強化

### S<sup>3</sup>-4の操業を開始

- S<sup>3</sup>-5の建設
- 国内グループ会社3社への  
能力増強投資に着手



本格稼働を開始したS<sup>3</sup>-4

# 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

## DX・GXを意識したインクジェット印刷への 切り替えニーズに沿ったビジネスの展開

### 新製品開発にも注力

#### リカーリングビジネスによる

- 収益強化を図る
- キャッシュ創出を図る



## 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

半導体の進化に合わせた微細化や  
生産性改善要望を受け  
新製品開発に注力

市場競争力の強化を図る



## 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

新規事業の創出へチャレンジ継続

先端半導体パッケージ領域の開発推進

次世代パターン用直接描画装置  
「LeVina」のリリース

RaaS<sup>\*</sup>への参画（前期から継続）

RaaS：東京大学システムデザイン研究センター主催の先端システム技術研究組合



## 1 イノベーションの創出と 持続的成長サイクルによる企業価値向上

### 新規事業の創出へチャレンジ継続

ライフサイエンス事業の強化

株式会社AFIテクノロジーを子会社化

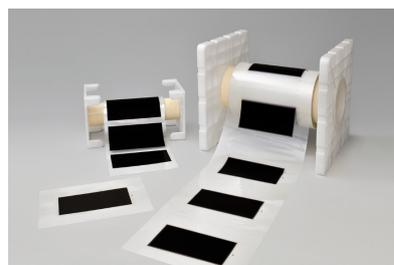
水素エネルギー事業の強化

水素関連事業室の設置を決定

(2023年4月1日新設)

AI技術を活用した製造プロセス全体の高度化など

株式会社Laboro.AIへ追加出資



水素エネルギー事業の重要部材  
「MEA」

## 2 収益性と効率性を追求し 利益に見合うキャッシュを創出

経営指標の見える化で各事業の収益性・効率性をROICで把握

継続的な分析によりゲンバでの改善活動を展開

ROICをポートフォリオマネジメントへ活用する体制を構築

売上高成長率

と

ROIC

の2軸で中期的に事業戦略を検討

### ROIC経営の深化で持続的な成長を目指す

## 2 収益性と効率性を追求し 利益に見合うキャッシュを創出

営業キャッシュ・フローの3年間の累計額

収益性・効率性両面の向上により**2,128億円**

営業利益の累計額を上回る水準  
ネットキャッシュも大幅に増加

## 3 サステナブル企業に向けたESGの取り組み

### Sustainable Value 2023

持続可能な社会の実現と社会的価値  
の向上を目指す



Sustainable Value 2023

- E 環境** 気候変動に対する取り組みと環境経営の実現
- S 社会** 働きがいのある職場の実現と社会的価値の創造
- G ガバナンス** リスクに強いガバナンス体制と組織づくり

### 3 サステナブル企業に向けたESGの取り組み

#### **E** 気候変動に対する取り組みと環境経営の実現

- 2050年カーボンニュートラルを宣言
- TCFDに準拠したリスクシナリオ分析と情報開示を継続的に推進

### 3 サステナブル企業に向けたESGの取り組み

#### **S** 働きがいのある職場の実現と社会的価値の創造 人的資本の強化に関する取り組み

- ▶ 従業員エンゲージメントサーベイの実施
- ▶ 次世代経営人材育成プログラムの開講
- ▶ 女性社員向けキャリア研修の実施

健康経営優良法人2023～ホワイト500～に認定



### 3 サステナブル企業に向けたESGの取り組み



#### リスクに強いガバナンス体制と組織づくり

- グループリスクマネジメントの強化
- 激甚化する自然災害やパンデミックに負けない強靱なBCPの整備
- サイバー攻撃に対するセキュリティ強化

## 中期経営計画の経済的価値の最終目標

(計画当初に策定した目標)

一年前倒しですべて達成

「最終年度」となる今期の目標を上方修正

(2022年7月)

## Value Up 2023 経済的価値の目標と実績

SCREEN

	目標 (計画当初)	実績 (2023年3月期)	目標 (2024年3月期) 上方修正後
売上高	最終年度 4,000億円以上	4,608億円	最終年度 5,000億円以上
営業利益率	最終年度15%以上	16.6%	最終年度17%以上
ROE	最終年度15%以上	21.0%	最終年度20%以上
営業キャッシュ・ フロー	4年間で累計 1,200億円以上	739億円 (3年間累計2,128億円)	4年間で累計 2,400億円以上
株主還元	2022年3月期以降 連結総還元性向30%以上	配当365円 (30.2%)	2022年3月期以降 連結総還元性向30%以上

\*上記5項目の数値目標は、オーガニック・グロースを前提としております。

株式会社 SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

23

## 設立80周年を迎えるSCREEN

SCREEN

### 2023年4月 企業理念を改定

#### 企業理念

##### 存在意義

### 人と技術をつなぎ、未来をひらく

- 未来共有 未来を見つめ社会の期待に誠実にこたえる
- 人間形成 働く喜びを通じて人をつくる
- 技術追究 独自技術の追究と融合をすすめる

##### 創業の精神

- 思考展開 創造と発展に挑み続ける精神

理念実現に向けて  
当社グループ一丸となり  
取り組み

新しいステージでの  
成長を目指す

株式会社 SCREENホールディングス

Innovation for a Sustainable World

本資料は、当社製品（フォント）「ヒラギノ書体」を使用しています。